



平成27年度当初予算案のポイント

1. 予算案の特徴

- ◆「総合振興計画後期基本計画実施計画」や、「しあわせ実感都市」を実現するための「しあわせ倍増プラン2013」、「選ばれる都市」を実現するための「さいたま市長戦略」を着実に推進する予算
- ◆特に、「教育」「健康・スポーツ」「環境」といった本市の強みや可能性に磨きをかけ、伸ばしていく施策に予算を重点配分し、住み続けたいまちを目指す予算
- ◆「さいたま市公共施設マネジメント計画・第1次アクションプラン」を本格的にスタートさせるなど、子や孫の世代へ「安心・安全」を引き継ぐため、これからの100年を見据えた重要な第一歩となる予算
- ◆「高品質経営」市役所への転換を目指す「行財政改革推進プラン2013」の取組を進めることにより、財源確保、コスト削減を図った予算

2. 予算規模

一般会計	4,560億円	前年度比	△89億円	△1.9%
特別会計	3,233億円	前年度比	80億円	2.5%
企業会計	1,215億円	前年度比	31億円	2.6%
全会計	9,008億円	前年度比	22億円	0.2%

予算総額では、全会計合計で前年度とほぼ同規模の予算となった。一般会計については、新クリーンセンター整備事業や臨時福祉給付金給付事業の影響等もあり前年度比1.9%減となったものの、前年度の特殊要因185億円を除くと2.1%増の予算となった。

一般会計の主な増減要因

歳入	市税	16億円増	個人所得の増加による増
	地方消費税交付金	33億円増	消費税率引上げに伴う増額の通年分交付による増
	国庫支出金	87億円減	新クリーンセンター整備事業関連補助金 51億円減 臨時福祉給付金補助金 29億円減 子育て世帯臨時特例給付金補助金 17億円減
	県支出金	24億円増	特定教育・保育施設等運営費負担金 12億円増
	市債	71億円減	新クリーンセンター整備事業 88億円減
歳出	民生費	4億円増	臨時福祉給付金給付事業 29億円減 子育て世帯臨時特例給付金給付事業 17億円減 特定教育・保育施設等運営事業 21億円増 介護保険、後期高齢者医療事業への繰出金 14億円増
	衛生費	138億円減	新クリーンセンター整備事業 139億円減
	教育費	59億円増	学校体育館等避難場所機能整備事業 26億円増

3. 主な新規・拡大事業等

(単位：千円)

事業内容等	27年度	26年度
<p>低炭素に暮らす都市へ～水素をエネルギーとする自動車の普及～</p> <p>低炭素で、エネルギーセキュリティの確保された環境未来都市の実現を目指し、水素ステーションの整備や、燃料電池自動車（FCV）導入補助制度の創設など、水素をエネルギーとして活用し、地域における様々なエネルギーのスマート化を推進します。</p> <p>【環境未来都市推進事業(環境未来都市推進課)P5】 【次世代自動車・スマートエネルギー特区推進事業(環境未来都市推進課)P5】</p>	190,315	220,649
<p>新待機児童ゼロプロジェクト～保育所定員の大幅増～</p> <p>保育所待機児童の解消を図るため、保育需要の高い地域に認可保育所を整備する社会福祉法人等に施設整備費等を補助することにより、認可保育所の定員を1,120人増加させる。</p> <p>【特定教育・保育施設の整備による定員拡大(幼児政策課)P5】</p>	2,454,096	1,756,072
<p>楽しく歩いて健康づくり「スマートウエルネスさいたま」</p> <p>歩数計と体組成計で身体の状態等が見える化する健幸サポート事業により、市民の健康づくりを支援するシステムを構築するとともに、健康マイレージの制度設計を行うなど、スマートウエルネスさいたまの取組を進める。</p> <p>【健幸サポート事業・健康マイレージ事業(健康増進課)P6】</p>	31,683	14,399
<p>グローバル人材育成のための全国に先駆けた「新しい英語教育」</p> <p>グローバル人材を育成するための「新しい英語教育」の実施に当たり、9年間を見通した「新しい英語教育」のカリキュラムを開発し、研究開発モデル校への外国語指導助手（ALT）の配置や教員研修の充実を図る。</p> <p>【英語教育充実推進事業(指導1課)P8】</p>	183,571	151,473
<p>特色を生かした魅力あふれる市立高等学校へ</p> <p>浦和南高等学校の校庭人工芝の改修設計、大宮北高等学校の理数科ネットワークシステムの構築、大宮西高等学校のグローバル人材育成のための海外研修補助の充実など、市立高等学校の特色を生かした魅力あふれる学校づくりを進める。</p> <p>【市立高等学校特色ある学校づくり事業(高校教育課)P8】</p>	48,230	16,304
<p>市民マラソン・国際女子マラソンの開催で「日本一スポーツで笑顔あふれるまち」へ</p> <p>市民マラソンにより健康増進を図るとともに、世界トップレベルの選手の走りを体感することで、市民のスポーツに対する意欲、関心を高め、「スポーツのまちさいたま」を国内外にアピールできる市民フルマラソン、国際女子マラソンを同時開催する。</p> <p>【さいたまシティマラソン事業(スポーツイベント室)P9】</p>	150,143	75,233
<p>国際芸術祭「さいたまトリエンナーレ2016」の開催で文化芸術都市へ</p> <p>文化芸術都市創造のための象徴的、中核的事業となる国際芸術祭「さいたまトリエンナーレ2016」の開催に向けて、機運醸成のためのイベントの開催、アーティストの招へい、滞在制作準備、広報・PR活動などを行う。</p> <p>【さいたまトリエンナーレ事業(文化振興課)P9】</p>	122,265	40,802

<次頁へ続く>

(単位：千円)

事業内容等	27年度	26年度
最先端の環境未来都市実現へ「アーバンデザインセンターみその」 世界に通じる最先端のまちづくりを推進するため、先行的に浦和美園地区において、地域のエネルギー利用の最適化、様々な地域サービスの創出・提供、情報発信の拠点となる「(仮称)アーバンデザインセンターみその」を産学公連携により設置する。 【(仮称)アーバンデザインセンターみそのの設置(環境未来都市推進課)P10】	132,201	18,202
バスがつなぐ都市の架け橋づくり～長距離バスターミナル検討～ さいたま新都心の交通拠点性の機能を高めるため、長距離バスや観光バスが停留できる長距離バスターミナルの整備に向けた基本計画を策定する。 【長距離バスターミナル整備検討(交通政策課)P10】	8,640	8,694
自転車ライフを楽しめるまちへ 自転車政策を体系的に取りまとめた「自転車まちづくりアクションプラン」を策定し、コミュニティサイクルの地域拡大やレクリエーションルートの策定などを検討し、安全で元気な自転車のまちに向けた取組を進める。 【自転車政策事業(自転車まちづくり推進課)P10】	564,749	530,632
さいたま発の「環境技術イノベーション」 「環境未来都市」を目指す特区制度を活用して新しいモビリティ技術の社会実験を実施するなど、産学官連携で環境分野の新技术創出に取り組む。 【環境技術産業推進事業(産業展開推進課)P11】	30,399	14,156
医療ものづくりはさいたまから さいたま医療ものづくり都市構想のもと、医療機器関連分野への新規参入・事業拡大支援のため、医工のマッチングなど、入口支援に加え、医療機器の市場化等に向けた出口支援を新たに実施する。 【さいたま医療ものづくり都市構想推進事業(産業展開推進課)P11】	51,426	55,011
安心して避難ができる災害に強い都市へ さいたま新都心の広域防災・医療拠点を補完するオープンスペースを確保するとともに、市民の憩い、レクリエーションの場となる身近な公園を整備する。 【(仮称)北袋1丁目防災公園整備事業(都市公園課)P13】	283,000	0
スピーディーで実証的な都市経営へ 市の業務等から得られる各種データを施策の評価・検証、PR、企画立案の基礎的な資料等として利活用する「さいたまシテスタット」を構築、推進する。 【「さいたまシテスタット」の推進(都市経営戦略部)P15】	4,000	0
子や孫の世代に安心・安全な施設を引き継ぐために 予防保全のモデル施設として選定した公民館4施設、保育園2施設について、中規模修繕・大規模改修工事を実施するとともに、躯体の健全性調査、修繕・改修の設計等を実施する。 【公共施設マネジメント計画の予防保全の取組(各施設管理所管課)】	1,255,518	53,946